

第23回  
富士市民友好の翼文集

～ 富士市・嘉興市友好都市提携30周年記念 ～



富士市

令和元年12月

# 目次

第23回富士市民友好の翼に参加して・・・・・・・・・・ 団 長	山田 操	2
友好の翼に参加して・・・・・・・・・・・・・・・・・・	小澤 みさほ	4
友好都市嘉興市を訪問して・・・・・・・・・・・・・・・・	石田 博子	6
友好都市提携30周年 市民友好の翼に参加して・・・・・・・・	石田 裕昭	8
友好の翼に参加して・・・・・・・・・・・・・・・・・・	小澤 龍ノ介	9
中国嘉興市との姉妹都市30年記念「富士市民友好の翼」・・・・	池田 雅子	10
富士市嘉興市友好の翼に参加をして・・・・・・・・・・	深田 輝雄	13
第23回「富士市民 友好の翼」に参加して・・・・・・・・	中村 千代子	14
富士市民友好の翼に参加して・・・・・・・・・・・・・・・・	鈴木 基之	16
「友好の翼」私の旅日記・・・・・・・・・・・・・・・・	濱中 克彦	18
令和元年度 第23回富士市友好の翼		
「時代を感じ 幸せを噛みしめ・・・・これからの決意」・・・・	石原 聡美	20
富士市友好の翼に参加して・・・・・・・・・・・・・・・・	小川 友理香	22
訪問記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		24
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		32

## 第 23 回富士市民友好の翼に参加して

山田 操

### 富士市民友好の翼に応募

私が第 23 回富士市民友好の翼を知ったのは、吉原まちづくりセンターに置いてあった参加者大募集のパンフレットでした。

パンフレットには、中国嘉興市と富士市の友好都市提携 30 周年記念事業に関する内容や日程が記載されていました。

特に目についたのは「中国共産党誕生の地、嘉興市友好都市提携 30 周年イベントに参加します」でした。

嘉興市との友好都市提携も知らなかった一市民が、中国の記念イベントに参加できることに興味津々となりました。

パンフレットには募集人員 15 名、申込期間 7 月 5 日（金）～8 月 15 日（木）、最小催行人員は 10 名。応募者多数の場合は第三者立会いの抽選となっていました。申込期間開始日が待ち遠しく、7 月 5 日に電子申請で申込をしました。

8 月 16 日付郵便で「令和元年嘉興市派遣富士市友好の翼参加者決定のお知らせ」を頂いた際には、思わずガッツポーズが出ました。

### 嘉興市対外友好と協力交流大会

11 月 6 日（水）10:00 より嘉興市行政センター 6 号ビル多機能庁で国際姉妹都市交流大会が開催されました。富士市とは 30 周年、韓国江陵市とは 20 周年の節目の年で、中国、日本、韓国参加の盛大なセレモニーでした。

同時通訳イヤホンを装着して、国際会議の雰囲気を楽しみました。同時通訳イヤホンからは、張兵嘉興市委員会書記、小長井富士市長、キムハングン江陵市長の挨拶がありました。中国共産党全人代会場を小さくしたような雰囲気、張兵さんの挨拶は中国人独特の強弱のある演説でした。テレビニュースで良く観る中国会議の雰囲気や進行を目の当りにする事が出来、貴重な体験でした。

会場を嘉興富悦大酒店へ移して、招待午宴が開催され、豪華な食事や飲み物を楽しめました。最大の反省は学生時代に、もっと語学の勉強をすれば良かったと思いました。

### 嘉興市国際友好都市文芸コンクール

11 月 6 日（火）16:00 から南湖音楽庁で「嘉興市国際友好都市文芸コンクール」が開催されました。中国、日本、韓国が順番に演舞を行いました。

中国は華美で華麗な演舞、日本は形式美が溢れた静の演武、韓国は賑やかで騒々しい農楽が披露され、中国、日本、韓国の国民性が楽しめる文芸コンクールでした。

### 世界大国中国の一端を感じました

帰国日前日は上海市内の豫園、上海中心大厚 118 階展望台、黄浦江ナイトクルーズ

の観光をしました。

2,400万都市上海の高層建築群や世界第2位の上海タワー、豫園の中国人観光客の多さに驚きの連続でした。

黄浦江ナイトクルーズで驚きのクライマックスになりました。

ライトアップのスケールの大きさは世界中で、他の場所の比ではないと感じました。政府と民間企業による管理の違いを大いに感じ、謎多き、恐るべき隣国、大国中国と改めて、仲良くし続ける事を痛感しました。

最後に

中国通の濱中さん、パンダ好きの深田さん、中国語が得意の最年長鈴木さん、マイペースの池田さん、3姉妹の様な中村さん、石原さん、小川さん、杭州で生活していた石田さん夫婦、大学生と一緒に小澤さん親子の富士市民友好の翼12名と6日間一緒に過ごせた事は最高でした。

嘉興市関係者、実験中学校、文星社區の皆さんと小さな交流の輪を広げる事が出来ましたが、それ以上に富士市民友好の翼参加者同志が、友好の絆を構築することが出来たと思われます。富士市を盛り上げる事の一助になればと思います。

こんな機会を提供してくれた富士市に、感謝の気持ちでいっぱいです。



嘉興市对外友好交流  
協力大会



嘉興市国際友好都市  
芸術公演



文星社區の皆さんと交流



実験中学学生との交流



烏鎮の月&夜景



上海 黄浦江の夜景

## 友好の翼に参加して

小澤 みさほ

友好の翼に参加して、貴重な体験をさせていただきました。

たくさんの思い出を持ち帰りましたが、ここにはとても書ききれません。

今後、友好の翼に参加する方に、参考になりそうな情報のみ書き留めることにします。

お役立ていただければ幸いです。

### 【嘉興市】

嘉興市は緑が多く落ち着いた街で、ビルなどは乱立していない。人々はゆとりある生活ぶりにみえた。宿泊ホテルは開発地区で、景色は工事中の所が多かった。バスからはおしゃれなショッピングモールも見かけた。

嘉興市は第一回共産党代表会議の場所で、南湖に紅船を再現した船が浮かぶ。

### 【準備】

中国では LINE、Twitter、Google、Instagram などは使用できないので、翻訳アプリ（Google のものでも使用可能）や地図アプリ、WeChat などを先にダウンロードして置くと役立つ。翻訳アプリもカメラでかざすと訳してくれるものや、音声入力して訳してくれるものなど、いろいろあるので便利。ただし、翻訳の正確性はアプリによって異なる。

アプリを使うならバッテリーの事も考えておいた方がよい。

充電器はそのまま使える。変換プラグはいらない。

### 【Wi-Fi】

レンタルという方法もあるが、私は借りなかった。空港は無料 Wi-Fi あり。

中国に向かう飛行機に乗る前に、携帯を機内モードにセット。ローミング off、Wi-Fiアシスト off、App のアップデートとクラウドのバックアップも off。

誰かの Wi-Fi を借りたときに余計なバック操作をしないための設定をしておいた。

中国に到着して、機内モードを外すと、スマホが現地時間にセットされる。

どのホテルも Wi-Fi があり、無料開放されていた。その中でも唯一、上海のホテルは、LINE や Twitter、Google、Instagram が使用可能であった。しかし、ホテルの回線はどこでも yahoo などは非常に遅い。WeChat は早い。

### 【現金・カード・QR 決済】

手元に現金 1109 元あったので Pay にチャージして使おうと思っていたが、WeChat Pay は中国の銀行で手続きをしなければ使用できない。結局、現金支払いで通した。2 人で 969 元（14500 円）使った。

私はクレジットカードは使わなかった。上海のシルク工場は円払いができた。

## 【物価】

観光地だったからかもしれないが、烏鎮でコーヒーが 35 元(525 円)くらいだった。上海の豫園ではチャイナ服を買ったが、最初 480 元(7200 円)と吹っ掛けられ、交渉の結果 140 元(2100 円)で購入。水は、ホテルに無料のペットボトルが置いてあったので購入しなかった。中華というメジャー高級タバコはひと箱 45 元(645 円)。タバコは値幅が広い。タクシーは 1 キロ 14 元(210 円)くらい。車両レベルによって多少違う。足つぼは、70 分 148 元だった。

## 【保険】

旅行会社の保険や、ネットの保険に入るなど、人それぞれ。

私は、行きタクシー代をクレジット払いにして、クレジット会社の保険を適用させておいた。旅行代金をクレジット払いにすれば、保険適用になったが、旅行代金は現金支払いだった。今後、旅行代金をクレジット払い可にしていただけるとありがたい。

## 【天気と服装】

天気はほとんど風もなく、ほぼ晴れ。気温も 20 度前後で安定していて、長そで 1 枚で充分だった。朝晩は、薄手のカーデガンを羽織ればちょうど良い感じだった。

寒くなるかもしれないと、コートも持って行ったが出番はなかった。

手荷物検査の時、行きも帰りもショートブーツを脱がされた。くるぶしが見えないものは脱いで確認されるらしい。

## 【食事】

毎回食べきれない量の豪華な料理を出していただいて、ずっと宴会を開いているようだった。食べ歩きもしてみたかったが、お腹が空くことがないので食べられなかった。

ビールは青島ビールがほとんどだった。その他、黄酒がよく出された。

## 【ホテル】

ホテルはどこも予想を超える豪華さだった。嘉興のホテル、富悦酒店はとにかく広くアメニティグッズもそろっていた。しかし、リンスはなかった。上海の興榮温德姆至尊豪庭酒店も豪華だったが、歯磨きセットがなかった。シャンプーやリンス、石鹸など、他のものは一通り揃っていた。他にタオルやバスローブ、ハンガー、スリッパ、金庫、TV があった。TV は NHK が見られる。

## 【トイレ】

ホテルのトイレはきれい。その他のトイレは清潔とは言い難い。公共のトイレは紙があったり、なかったり。バックにトイレットペーパーを折りたたんで数回分用意しておいた。トイレを見て我慢しようと思わせるようなところはなかったなので、全体的に○。

## 友好都市嘉興市を訪問して

石田博子

この度、富士市嘉興市友好都市提携 30 周年を記念する訪問団に富士市民友好の翼の一員として 11 月 5 日から 6 日間中国を訪問しました。嘉興市は上海浦東空港より 100 km 南西に位置しており長江デルタの肥沃な土地なのでしょう二毛作の 2 度目収穫時期を迎えた稲が見渡す限りに実っておりました。最初に上海周辺を訪れたのは 15 年前の春のことでした、夫が中国赴任する直前で準備のための訪中でしたから季節や風景など楽しむ余裕は無く、ただ通訳の方に連れられて歩いて廻ったことしか覚えていません。旅行に最適な季節に懐かしい中国を訪問出来る事、また、観光だけでなく富士市嘉興市の友好事業に参加させていただけるという事でとても興味深く、今回の参加を決めました。

富士山静岡空港から上海浦東空港までの飛行時間は 2 時間を少し超える程度であったという間です。空港から嘉興市は 100 km ですが高速道路は良く整備されておりバス移動も苦になりませんでした。やや遅めの宿泊先到着でしたが、翌朝の予定にはゆとりがあり交流事業には終日楽しく参加する事が出来ました。

6 日午前には富士市嘉興市とは友好都市提携 30 年、また嘉興市韓国江陵市 20 周年を記念した交流大会が盛大に開催され昼食会を挟んで午後には友好 30 周年記念書画展開幕式、その後国際友好都市芸術公演を観覧しました。公演では日中韓の演目を楽しく拝見しました。が、この公演では三国の文化があまりにも大きく異なっているという事をあらためて感じさせられました。ですが、このちがいを隔たりととらえるのではなく多様性として受け入れ理解しあうことが、この友好事業の大きな柱ではないかと考えました。

7 日には嘉興市武術家協会との交流会、その後には市の中心地にある団地のコミュニティセンターでは住民との交流があり色々な活動が行われている事を知り感心させられました。午後の中一実験学校見学会は実験学校という名称に何か引っかかる気持ちがありましたが、生徒たちと実際に話してみると いくら選抜された特別な子供達とはいえ 17 才は 17 才で意欲的ではありますがナイーブな面も垣間見せる思春期の若者たちでした。ただ、自分の能力を前面に出して表現できるのは 多くの日本の子供達に無い部分でしょうか。交流した子供達はいずれ各地で立派な仕事をするよう期待されて、そう成長していくことでしょう。彼らが、僅かでも日本に対する理解を深める機会を持つ事ができるように願っています。

8 日は古い街並みを活かして造られた観光地を訪れました。水郷地につくられ手漕ぎの渡し舟に乗って宿泊するホテルのある島に渡るのは風情のあるものでした。

9日には上海市に入り上海タワーや豫園, 黄浦江ナイトクルーズなど前日とは全く趣の異なるものでしたが、現在の中国の国力を表現しているようで圧倒され、ただただ感心しておりました。夜間の町中のライトアップはそれはもう豪華なものでプロジェクションマッピングも駆使されまばゆく、一時間程のクルーズは飽きることはありませんでした。ただ、15年前に観た外灘のしっとりとした美しさも忘れられません。

団体での旅行は学生時代以来のことで、心配な面もありましたが友好の翼のメンバーがお互い気づかいあいながら楽しく旅行を終えることができました。最後になりますが、嘉興市での歓待とこの旅行を準備して下さった皆様にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



## 友好都市提携 30 周年 市民友好の翼に参加して

石田裕昭

今回、東京オリンピック 2020 に向けて、英語だけでなく中国語も少しは話せたらいいなと思いながら、中国語講座で学んでいた時に今回のイベントを知りました。妻が、「お父さん、この企画、観光地以外に中国の公共施設見学があるし、市の補助もあるよ。それに中国語の仲間も行くみたいよ」という事で、皆さんに迷惑をかけないを合言葉に参加しました。

浦東上空から、無数のオレンジ色のライトとただっ広い道路を見たときに、また、中国へ来たんだなと、懐かしく思いました。

高速道路は片側 4 車線、大型バスの揺れも少なく、日本の高速よりも快適な道でした。

11 月 6 日、嘉興市対友好交流・協力大会で、中国、日本、韓国の市長さんが、それぞれ友好交流の歴史と市のビジョンをお話し頂き、興味深く聞く事ができました。

ガイドリーダを使い同時通訳が聞けるので、言葉の勉強になり、中国語と英語が、頭の中で駆け巡っていました。

翌日、嘉興一中実験学校では、17 歳の子供達が、学校案内をしてくれました。中国語を試して見る絶好の機会でしたが、声調とピンインの悪さで、なかなか理解してもらえず、直ぐに挫折してしまいました。それでも、英語と筆談で、コミュニケーションが取れ、大変楽しい時間を過ごす事ができました。生徒達は、毎日 6 時 40 分～21 時 20 分まで学校で、自習を含め勉強するとの事です。話をした女の子は日本の東大へ行き経済学を、男の子は上海の同済大学で建築を学びたいとの事でした。中国の選ばれた子供達が、それぞれ高い目標を持って、勉強に励んでいる事に感心しました。子供達が、立派に育ち、お互いの国を理解し争いの無い関係を築けたら良いのに、と願うばかりでした。

ホテルで、ホテルのスタッフに話をしても通じず困っていたら、携帯の翻訳機能を使い、説明をしてくれました。翻訳機能では、間違いがあったものの結構意味は通じるものですね。私が来た 15 年前は筆談でしたが、時代と共に、会話方法もずいぶん変わってきたような感じがしました。しかし、いつも笑顔で相手としっかり向き合えば、何とかなるものだという事を、今回の旅行でも感じさせられました。15 年前に感じた、中国のおおらかさは今も同じでした。特に、年長者を大切にする態度は以前と変わりません。また、元気なうちに来れたらいいな。 再見

オリンピックを前に、コミュニケーションに特化して、感想を書きました。

最後に、トラブルも無く楽しい時間を過ごせたのも、引率して頂いた市の方々と、楽しい仲間の皆さんのおかげで感謝しております。大変、ありがとうございました。

## 友好の翼に参加して

小澤龍ノ介

今回友好の翼に参加させていただいて嘉興市による最高のおもてなしをうけたことは非常に貴重な経験であった。

中国で過ごす6日間は非常に楽しかった。と同時に少し窮屈さを覚えた。

理由としては、まず日本で使われているインターネットのコミュニケーションツールが使えないことが挙げられる。嘉興市で泊まったホテルの無線LANに接続してもInstagram、LINE、Twitterは使えなかった。SNSをよく使う自分には辛いものがあった。

他には、現地の人々が政府を批判する旨の意見をSNS等へ書き込むことができない、ということも言っていたことも挙げられる。私は大学のゼミで憲法を研究している。そこで学んだ「表現の自由」が存在しないことが自分には衝撃的であった。

帰国してからゼミの先生にそのことについて聞いてみると、やはり一党独裁状態であるために、人権の保証はないに等しいようだ。

このような所を比較して日本は自由が保障されていることを実感できた。

とはいえ、そのこと以外はとても楽しめた。豪華絢爛の4文字がぴったりのホテルや料理。派手な伝統舞踊など日本では絶対味わうことのできないものである。

嘉興市では中国の共産主義の生まれた地という意志を街全体が持っている印象を受けた。街の柱には大体中国国旗が掲げられていた。愛国心という点は日本人も見習わなければならないところではあるな、と思った。

烏鎮では歴史的な美しい街並みを楽しむことができた。京都の街とは似ているようで全く違う街並みで不思議な気分になった。

上海はとにかく派手だった。クルーズをした時、船から見える、360度の彩られたビルたちは様々な光に彩られえていて綺麗だった。

前までは日本から出たくないと考えていたが、この旅行を通して色々な国に旅行して様々な文化に触れたいと思えるようになった。

## 中国嘉興市との姉妹都市30年記念「富士市民友好の翼」

2019.11.5～11.10

池田雅子

中国は学生時代から井上靖の「敦煌」「西域物語」を読みNHKの「シルクロード」放映も観て歴史や文化に興味がありました。

今回 嘉興市訪問する市民の募集を知り 様子を聞こうと電話した国際交流室の小林千明さんが「是非どうぞ」との口調で誘ってくださったので すぐ申し込んでしまい、節目の時によい機会を得て 実り大きい旅になりました

打ち合わせの時メンバーに2,3人の顔見知り居て安心した反面 2回目会合の中国語講座を都合で欠席し不安半分、期待半分。団長は旅のベテラン山田さんで頼もしく 「友好の翼」だけではなく 富士市長、議長以下の訪問団、富士市武芸芸術団、富士市日中友好協会、富士商工会議所と私たち 総勢60人位の結団式で改めて大切な訪問だと認識しました。

5日(火)バスで静岡富士山空港へ。16時頃機内食。時差は1時間戻し上海浦東空港着陸。  
公用バスで嘉興市への途中で中国的な日本食レストランで遅い夕食。味噌汁が美味しかった。  
3泊する富悦大酒店にチェックイン。20階の広い部屋

6日(水)9時出発で時間が有ったので朝食後散歩。ホテルの前に大学があると知り、道を尋ねた女性が「職場が近くだから一緒に」と言って 英語で話しながらキャンパスの緑や紅葉を見、トラックでは市民も走ったり、歩いている様子が見られ 案内してもらって楽しかった。6歳の女の子がいるというので持っていたキティのストラップをお礼に。アドレスを知らせて帰宅したらメールが来ていた。「富士山のふもとの富士市に来てね」とPR。

10時から嘉興市対外友好交流・協力大会出席。 韓国の姉妹都市、富士市と ゆかりのあるドイツ人、イギリス人なども参加の同時通訳イヤホン付き国際会議。それぞれの挨拶を聞き、ティータイムをはさんでお昼まで。富士市が贈った富士山と工場夜景の写真パネルは遠くからも分かり見栄えがして良かった

昼食の歓迎会は豪華な中華料理でロブスターやホタテが私好み。何人かと通訳を交えたり英語で会話。83歳の鈴木さんは教師定年後に中国語を初め 日本語を教えた生徒が何人もいて何回も訪中しており いつも積極的に中国語で話しかけ生き生きとしていた。

14時富士市との書画展開幕式を図書館で。今年、8月に富士市に来た人達が富士山の絵などを描いた作品を展示されていた。

15時～16時半 友好都市芸術公演 鑑賞。日本は居合い抜き、薙刀、柔道の形を見せ 韓国は鳴り物入りで村踊りのような舞台。一緒に観た地元の高校生と少し話してホテルへ。

7日(木) 屋根がある野外劇場でこの地域の昔話を歌、踊り、アクションで表現。本物の牛が角を持って倒されたり、小さな川がしつらえてあり船や本水の雨が降ったりで歌舞伎のように大げさで分かりやすかった。一緒に観た人達ともなんとなく交流。博物館見学の後アパートの住民の活動見学で 切り画、習字、水墨画、などの作品を貰い 一緒に餃子作り体験。ひだつくりが上手と褒められ茹でたての餃子を3個試食。手作りの皮は男性が手際よく作った物で もっちりして食べごたえがあった。

次に寮もある実験高校に行き、富士市に来た事のある生徒も居て話が弾み 教師になりたい女子が2人いた。男子の将来の希望が聞けなくて残念。 寮の部屋はトイレまで見せてもらった。トイレは狭くしかもシャワーが一緒になっているので驚いたが 部屋に付いていて離れたところより便利かと思う。

南湖の近くを散策し夕食。毎日回転式の中華料理で食べ過ぎているが皆さん元気でお酒も美味しそう。

8日(金) バスで烏鎮(ウーチン)へ。真ん中に水が流れていて船や徒歩で廻れる。両側の古い町並みをリフトオムして 住民もいるし店やホテル、民宿もあるという京都の町屋みたい。

土地は政府の物だから一斉に工事して統一が取れた観光地が出来た。東柵と少しはなれて西柵があり両方に行って大きい方の西柵に泊まった。古い屋敷を改造して部屋は近代的。鳥の声、水の音が聞こえ 1人で歩いても安全で夜も出掛け 無料の野外映画(古いフィルムの軍隊物?)と隣の建物の中で、おじいさんが浪曲のように三味線を弾きながら語り、漫談みたいに笑わせて内容は分からないが行って面白かった。ほとんどが中国観光客で 1組日本人ツアーを見かけたくらい。若い子はコスプレしたりして写真を撮るのに夢中。

9日(土) 上海に移動。高速道路も市に近づくと渋滞。昔のお屋敷の「豫園」は中に入れて高い所から全体を見て 茶店で各種お茶の試飲。中国茶も奥が深い。

豫園の周りは新しい中国的観光街で食べものや土産店など。少しの欧米人と子供連れなどの中国人がわさわさ。迷子になりそうだった。ランチは有名な小籠包の店で 長い行列の中予約で3階まで行き ゆっくり熱々の飲茶とスープもうす味で美味しく おなかイッパイ。手際よく案内して下さる添乗の川島さんと現地ガイドの荘さんに改めて感謝。

午後は上海中心大厚118階世界一高い展望台へ。ここでも三菱のエレベーターはすごい。天気もよく360度見えてラッキー。夕食で待望の上海蟹を堪能して夜景クルーズへ。とても混んでいたが 船に乗ったらゆっくり兩岸のライトアップされたビル群を見て 中国のエネルギーやこれからの発展がどうなるか興味を感じた旅でした。

10日(日) 空港までリニアモーターカーで10分足らずで到着。フライトも寝る間がない位早く富士山静岡空港到着。6日間天気も気温もよくメンバー全員が元気で帰宅できた事、この大切な交流事業を企画準備してくださった小林千明さん初め関係の皆様へ感謝します

## 『富士市嘉興市友好の翼に参加をして』

参加者 深田 輝雄

私は、今回親しい友人とともにこの会に参加しました。この日は天気恵まれ、無事に上海へ着くことが出来ました。上海に到着すると、すぐに専用のバスに乗り嘉興市へと向かいました。バスの車窓からは、5階建てくらいのアパート群を見ることができ、町の発展を目の当たりにすることが出来ました。そんな光景を見ながら出発から、2時間余りで嘉興市へと到着しました。嘉興市に到着をしてすぐに感じたのが、美しい町並みで街道に赤い花が植えられ、今でも建設中のビルや高速道路などがあり、エネルギー感を感じました。

翌日は、嘉興市対外友好交流大会が開かれ、嘉興市のこれまでの発展と、これからの相互の友好交流について話されました。富士市からは小長井市長による交流の経緯や、今後の友好の立場を述べられ、深く感心をしました。私も一市民として今回の交流会に参加することを誇りに思いました。私は、独学ですが、中国語を少し話すことができますので、それが少しでも交流の手助けになればと思いました。

その後の懇親会では、おいしい料理を食べ、宴演劇を見ながら懇親を深めることとなります。中国の市委統一部副部長の章一川さんと会話をして楽しいひと時を過ごしました。宴演劇は、まさか本物の牛をつれて演じるとは思っていなかったもので、普段見る演劇よりも素晴らしいものでした。その後は、観光地の散策をしました。そこではすれ違った市民と積極的に話しかけることもでき、良い経験となりました。今後も交流の機会があったら積極的に参加をしていきたいと思いました。

## 第23回「富士市民 友好の翼」に参加して

中村 千代子

私が、「富士市民 友好の翼」を知ったのは締め切り2週間前でした。中国というと、テレビでいろいろなニュースが流れ、あまりいい印象はありませんでした。でも一度は広大な大陸をこの目で見てみたいと思い応募しました。訪問に参加しました感想を書かせて戴きます。

### 1日目

富士山空港から飛行機に乗ると、すぐ機内食が出され、食べている途中にキャビンアテンダントが片付けに来て慌ただしかったです。上海空港からバスで嘉興市へ移動中、ひっきりなしにクラクションを鳴らす車や、バイクが突然飛び出してきた、「ヒヤッ」とする場面がたびたびありました。中国にはせっかちな人が多いのでしょうか。

### 2日目

嘉興市の市役所で、友好交流協力大会が開催されました。韓国やドイツ含む160名程が集う会場は圧巻でした。

テレビで見る国際会議のように、イヤホンをつけて日本語同時通訳を聴きました。嘉興市と富士市は、お茶と紙の生産が縁で友好都市になったと聞きました。茶会でいただいたグリーンティーは、まるやかでとても美味しかったです。

昼食の歓迎会では、嘉興学院の施教授が隣になり、中国語が話せない私は、英語で会話をしました。お互いの家族のことや趣味などを話し、とても有意義な時間でした。テーブルには日本語堪能な20歳の曹さんがいてくれたので、深い話も出来て助かりました。

場所を移動し、中国・韓国・日本で芸術を披露しました。中国・韓国の煌びやかな衣装で舞う姿は、とても美しく感動しました。日本の武道は尺八の音色と共に四方清めの剣やなぎなた道などを披露しました。これぞ日本人の武士道精神そのものと、心が洗われました。

### 3日目

嘉興市コミュニティー活動センターで、そこに暮らしている方々と交流しました。書道・水墨画・切り絵などとても素敵な作品でした。水餃子も皮から作っていて、少しお手伝いさせてもらいました。出来立ての水餃子をごちそうになりました。皮が厚くモチモチしていて、とても美味しかったです。

午後は嘉興市一中実験学校を見学しました。皆寮生活だそうです。小さい二段ベッドには、蚊帳が吊ってありました。水辺の街なので虫が多いのでしょうか。私立のエリート校なので、裕福な家の子供しか入学できないようです。ますます貧富の差が出てしまいます。

## 4日目

楽しみにしていた烏鎮。とても美しい水の都で、タイムスリップしたような景色が広がっていました。東柵と西柵に分かれていて、かなりの距離歩きました。古い寝具が展示してあり、身分の差が明らかでした。狭い路地には食べ物・筆・バック・くつ・雑貨などが売られていました。烏鎮名産の『三白酒』を製造販売している庭には、カメがたくさん並べてあり、独特な匂いを放っていました。アルコール度数が高いため、試飲させてもらったら、胃が熱くなりました。藍染めも特産品で、染物を高くひらひら干している情景はまるで時代劇のようでした。帰路は船でゆっくり景色を眺めながら戻りました。夜の自由散策はとても楽しく、店を巡ったり、古いフィルム映画を見ました。居合わせたおじさんに、太極拳を教えてください交流を深めました。

## 5日目

上海の豫園を観光。小籠包のお店は大繁盛で行列になっていました。待たずに食べられるのがツアーの良いところですね。118階もある上海中心大厚の展望台から眺める景色は、どこまでも広がっていました。残念だったことは、少し霞んでいました。夜は、黄浦江ナイトクルーズの息をのむような夜景に、しばし酔いしれました。

## 6日目

最終日、高速リアモーターカーで上海浦東国際空港まで行き、富士山空港へ。飛行機が着陸し、無事に日本に戻って来られたと、安堵しました。

## 結び

今回「富士市民友好の翼」に参加させていただき気づいたこと。

- 1.中国の人達は皆元気だということ。（お腹から大きな声を出しているの、腹筋を使っているのでしょうか？）
- 2.建設ラッシュなので、まだまだこれからも発展していこうということ。
- 3.貧富の差があるため、貧から抜け出すには一生懸命勉強して、貪欲に働くこと。（通訳の方が言っていました）
- 4.日本の水道水が普通に使えることの有難さ。
- 5.日本ではトイレトパ-ル-を持ち運ばなくてもいいこと。

日本と中国はこれからも友好を深めて、仲良くしていければいいなと思いました。

富士市の訪問団を快く受け入れてくださった嘉興市の皆様に感謝致します。

ご同行の皆様には、ファミリーの様に過ごさせて戴き、とても楽しかったです。

市役所の千明さん同行お疲れ様でした。派手な服やピンクのリュックを身につけていただいたおかげで、迷子にならずにすみました。

天候にも恵まれ最高に楽しい旅でした。

謝謝。



## 富士市民友好の翼に参加して

鈴木基之

友好都市嘉興市、烏鎮、上海市で過ごした六日間は、私にとっては映画のドラマを見ているように脳裏に鮮明に残りそれぞれの場面・場面が浮かび上がって来ます。いい思い出になりました。

先ずはこの六日間のために尽力していただいた市役所職員の皆様はじめ関係者の皆様にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

富士市と嘉興市は友好都市提携してから30周年になりますが、私も中国人との交流を始めてちょうど20年目になりました。

最初に日程を追っての感想文を書き、次に私の20年間あらましを書きたいと思います。

### 11月6日嘉興市対外友好交流・協力大会

#### 第一節 国際姉妹都市交流大会

会場はスピーチを聞くためにつくられたものでした。三か国同時通訳されて市長さんのお話を通訳された中国語で聞くのも初めてでした。

スクリーンには雪景色の富士山を中心にして左に富士川、右側には田子の浦港と富士市全体が映し出され改めて私たちの街を誇りに思いました。

それぞれの市長さんが自然・歴史・文化・産業など一言一言噛みしめながら紹介され感動しました。

国が異なると相手を尊敬しながら話をしなければならず大変だなと思いました。

#### 第二節 嘉興市対外友好と協力交流大会

特別活動では富士市姉妹都市30周年書画展示と文芸コンクールがありました。

富士市からは武芸・なぎなた・空手道などのみなさんが武芸を披露しました。また嘉興市は江南地方に伝わる踊りを見せていただき若者のたくましさを感じました。

#### 嘉興市からの研修生との出会い

初めて中国旅行したのは退職後2年目の時で今から20年前のことです。

中国人旅行社の人に連れられて無錫・太湖・蘇州・南京など当時流行していた無錫旅情の歌そのままに汽車に乗り船に乗り各地を訪れました。この地方も浙江省で嘉興市の近くです。

南京駅はその頃は地方からの出稼ぎ労働者で足の踏み場もなかったです。夜店にも連れて行ってもらい蘭州ラーメンだと思いますが、小麦粉の固まりを手だけで何回も引き延ばし細い麺にする技術は今でも忘れることはありません。この旅で中国の広大な大陸の風景と中国人民の暖かい人間味に触れその魅力に取りつかれ中国語を勉強しようと決心しました。

その年初めて富士市で国際交流が開かれ私の中国語の先生と出会いました。先生は中国残留孤児の二世です。週に一度三年間先生から中国語を学びました。その内容は何度も何度も復習しました。三年間の勉強が終わったころ嘉興市から大勢の研修生が富士市に来ました。先生は商工会から使命され研修生に日本語を教えることになりました。その時先生から日中友好協会に入るよう勧められました。

当時の協会は中国人のために沢山の行事を持ちました。毎週のように国際交流室で中国人と日本人が歌を歌ったり話あったりしてとても楽しかったです。

そんなある日先生から嘉興市の研修生に日本語を教えてほしいと頼まれました。教師だった私は教えるのが好きだったので願ってもないことでした。交流室で三年間ぐらい教えました。

それから ACC の学生、常葉大学の留学生、富士市に住んでいる人と相手は変わりましたが現在も続いています。今は私と中国人二人だけになってしまいましたが、吉原にある交流室で週に一度交流しています。

今回富士市民友好の翼に参加するにあたって二つの目標を立てました。

第一に 中国語会話がどの程度中国人に通用するか試すこと。

第二に いろんな場面をとらえて大勢の人と交流すること。

その目標を達成するために話の内容をあらかじめ設定しました。

まず私たちの住んでいる富士市を紹介すること。そのためにスマホには芝桜と富士山の写真を用意しました。

その他に自分の趣味。一週間の生活。中国と日本の有名な都市や名所。食べ物などなんでもすぐに会話が出来るように友好の翼の参加が決まってから猛勉強しました。

翼で訪問した中高一貫の生徒とは時間の関係で富士山を写真で見せ私の生活のようすを伝えただけで生徒の寮生活のことは聞けませんでした。また一般的な市民生活のところでも私の話す時間だけに終わり物足りなかったです。もう少し時間がほしかったです。

しかし、食事の時は中国人ガイドとは十分に話をする事ができました。フロントに明日の天気、気温、劇の始まる前など短い時間も話をしました。烏鎮では朝市のおばあさんやおじいさんに話しかけ面白かったです。内容は秘密。

朝市の後フロントで台北の家族連れの人達と仲良くなり富士山の写真を見せたり、話をしたりして共鳴し、好きなテレサテンの「時の流れに」の歌を中国語で歌ったら合唱になってしまいました。

嘉興市・烏鎮は研修生と十五年ぐらい前にきて二度目です。当時門票が残っており60元でした。

嘉興市は上海市と杭州市の中間にあり現在人口470万人とのこと10年で100万人増加しているとのことです。

ホテルの前は上海から杭州に向かう高架道路が建設中、20年前は田舎だった嘉興市は今後どうなることか。

目標の一つであった話すことは満点で話が洪水のように口から出て自分自身びっくりしました。発音も中国人からほめられました。

しかし残念なことに聞く力は自分でも評価30点。そこでガイドに頼んで、一般的な市民の日常生活を映画にしたDVDを買って来てもらいました。日本では買うことができない物なのでうれしかったです。

中国が好きで83歳の私は今度の旅行で現地で絹のパジャマを購入しました。嘉興市の研修生からいただいたパジャマが遠い昔ダメになり使えなくなったのを思い出したからです。中国にはこれから行けなくなるかもしれませんがきっと中国を思い出すことでしょう。これからはDVDの映画鑑賞を楽しみながら更に聴力を伸ばしていくつもりです。

みなさんありがとうございました。

## 「友好の翼」私の旅日記

濱中克彦

国際交流室の小林さんから「友好の翼」を紹介され、直ぐに応募しました。初めての烏鎮西棚観光と上海のナイトクルーズに惹かれて。中国語を勉強し始めたところなので励みにしたくて。そしてささやかな国際交流ができればと思って応募しました。

以下は、「友好の翼」私の旅日記です。

1日目。晴天に恵まれ「友好の翼」訪問団は富士市役所に集合した。他にも市長団をはじめ4団体。そろって静岡空港から上海へ。機内で時計を1時間戻し、一足先に心は中国。3時間足らずで喧噪の上海浦東空港に到着。

2日目。嘉興市対外友好交流・協力大会に参加。富士市は嘉興市と姉妹都市30周年。韓国の江陵市も嘉興市と姉妹都市20周年。日中韓が集まる記念大会。

張書記の歓迎の辞。「友、遠方から来て嬉しい。嘉興市は4000km<sup>2</sup>の面積をもち、長江デルタの中心地。上海に近く、さらに地下鉄や空港も予定。京杭大運河が通る歴史の地。」

小長井富士市長、「紙が縁で姉妹都市に。富士市は温暖で豊かな地下水に恵まれ、生涯において青春を謳歌できる土地。」この言葉、胸に沁みていく。

キム江陵市長、「江陵市は平昌冬季オリンピックの開催地。」

休憩中に江陵市の団員に「アンニョンハセヨ。私は韓国でスキーをしました。寒かった。でも良いところ。江陵市ですか？」すこし驚いた顔が笑顔に変わった。

歓迎昼食会の円卓。隣の嘉興市副部長に中国語で自己紹介。「很高兴认识你。」スマホ片手に「これは泰山で撮った日の出です。」

3日目。嘉興市武術家協会との交流。嘉興市の歴史をもとにした武術劇。舞台に雨を降らしたり、牛を登場させたり、驚きの演出の連続。

団地のコミュニティーセンターで餃子作りに挑戦。小さなめん棒で皮をのばす。具材を挟み、ひだを作って餃子に仕上げる。皆さんの優しい手ほだきに、時間を忘れて餃子を9個。

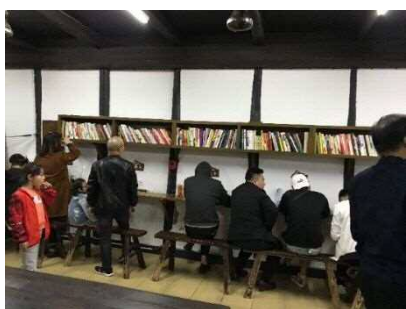


午後は、嘉興市第一中学校を訪問。生徒との懇談会。私のテーブルには17歳の女子学生。嘉興市の自宅から通い、数学と歴史が好き。東京に行ったこと。南湖、西湖、杭州、龍井茶のこと。大学のこと。先輩が日本の大学でデザイナーを目指している。鉛筆と手帳を使って話は続く。「将来は師範大学に行って学校の先生になりたい。」語る瞳が輝いていた。

4日目。黒い屋根、豊かな町の意味を持つ、水郷の古都、烏鎮。最初に東棚地区を巡る。手漕ぎ船に乗った記憶がよみがえる。

午後は初めての烏鎮西棚地区。川沿の古い町並みを歩いていると、そよ風に舞う仙女たち。聞き覚えのある言葉に思わず「ロシア人ですか？」「ダー。」「ロシア語が少し話せます。」「みんな一、この人しゃべれるわよ。中国人？」「日本人です。学校で・・・。」

皆さん座ってお勉強？旅行客に嬉しい無料の充電コーナー。Wi-Fiもあるのかな？



19時から建物の壁を利用したレトロな無料映写会。木製ベンチに腰を掛け、フィルムの擦れる音をしばし懐かしむ。富士でのおもてなしにも使えそう。

5日目。早朝の西棚地区で朝市。菱の様な尖った実をおばあさんが売っている。一つもらう。割ってみろと言われるが、硬くて手で割れない。そばのお兄さんに割ってもらう。中に白いつるんとした種子がある。食べてみると甘い。価格は袋いっぱいの1斤(500g)が6元。

『買ってみたいけど、そんなに沢山買えないよー。』

『少量売りはできないのー？』



渡し船で烏鎮をあとにする。バスでお昼に上海到着。豫園で小籠包、上海タワー119階展望台、上海蟹に紹興酒、そして念願の黄浦江ナイトクルーズ。外灘の夜の川面に色彩が踊る。

6日目。リニアで7分、上海浦東空港に着く。機窓から富士を眺めて静岡空港に。6日分のSNSが一気につながっていく。富士市役所に無事到着。再会を約束して家路につく。

あっという間の6日間でした。

カタコトだったけど国際交流もできました。

でも中国語がもっとできれば良かった。

「頑張るぞ！我会尽力的！」

お世話になった皆様に感謝して、いつの日にか 「嘉興で会いましょう！嘉興見！」

そして「友好の翼」の皆さんへ、

「みんなに出会えてよかった。很高兴认识大家。」

## 令和元年度 第23回富士市友好の翼

### 『時代を感じ 幸せを噛みしめ・・・これからの決意』

石原聡美

ずっとずっと昔（約30年前）富士市青年団連絡協議会副会長として『第1回静岡県東部青年の翼』や『第23回静岡県青年の船』で中国へ研修に行かせていただいた私。その後結婚し、息子も生まれ、息子が保育園に上がった頃（＝研修の10年後）得た社会力で社会に恩返ししようと『男女共同参画』に関わって早20年。世も令和に変わった今年は、私にとっても長年勤務した公的福祉団体を辞め、在職中にはできなかったことにトライする年でもありました。

その一つがこの『友好の翼！』現地の食生活と腰痛の心配はありましたが、課長の「友好提携30周年なので特別なことがいっぱい！一緒に行きましょう！！」という後押しがあり参加を決意しました。

事前研修会での中国語の多少の不安は、同行する仲間との事前交流で何とかなるだろうという予測の下出発した静岡空港。最高の夕焼けが、この旅の前途を物語っているかのようでした。上海空港に着くと、私のスーツケースがなかなか出て来ず、皆さんをお待たせしてしまった以上に武術団の武具のトラブルもあり少々ハラハラしましたが、夜遅くに嘉興のホテルに無事到着した時にはホッとしたものでした。訪問団全体での式典や交流会等は、30年の友好関係を再確認させていただきましたが、書画展はもう少しゆっくり鑑賞したかったなあ～！また、図書館での女性の代表の方の挨拶は、中国での男女共同参画がどの程度の進捗かはわからないけれど、とても堂々としていて同じ女性として頼もしく感じました。中国芸能や武術の鑑賞では文化を、コミュニティー活動センターでの書道交流・餃子作り体験等では生活を感じられ、超優秀な私立高校生との交流は、日本の高校生が学んだほうがいいような（？）高い志も感じ、一般的なツアーでは経験できない多文化を肌で感じる何よりの機会でした。

後半の観光面、烏鎮は、狭い路地の両サイドの中国独特の家屋や運河に『ザ・中国（笑）』を感じたり、笑いころげた自由時間の楽しいひとときや情緒ある夜景が、温かくスパイスの効いた思い出となりました。現地最終日、私の今回の旅の最大の目的は「33年後の上海体験！」だったので、世界最大級の都市の変化は、刻々と変わる都市景観と変わらない中国らしさの両方を感じることができました。また、今旅の料理の中で初めて「おいしい🍴」と感じた小籠包や、ナイトクルーズの夜景の美しさは生涯忘れることはないでしょう（スーさん、ほんと！）

それでもそれでも・・・帰路、静岡空港に降り立った時&富士川を渡り富士市に入った時には、ああ～やっぱり！日本に・静岡に・富士に生まれた幸せを噛みしめたり（回数として

は) ところどころ世界を旅したものの、日本が、静岡が、富士が大好き!! という思いを改めて実感しました。さらに、今回も含め国内外の研修に参加させていただき、そこで得た知識や体験、感動、仲間との交流は『★人生の宝物★』と再確認し、この報告書を書いています。言い忘れましたが、全体を通して天候に恵まれたことは「私、超超超晴れ女なので!」貢献できたかな～笑～

最後に、この機会を与えて下さった富士市、増田課長はじめ小林さん、同行した皆さん、お世話になりました。(ほどほどお世話もしたけど～大笑～) ありがとうございます。(残りの人生でずっと関わっていきたい友人も増えたし・・・) でも、ここからが本当の交流!! ともかくにも、今回の経験を活かし自分にできる形で、さらに活気ある街にするため微力ながら富士市に貢献していきたいと思います。

## 富士市友好の翼に参加して…

小川 友理香

偶然目にした広報ふじ。そこには友好の翼の案内が記されていた。今年3月末に中国杭州から帰国した私にとって興味が持てる案内だった。しかし、復職したばかりだったため、連休がもらえるのか?!まずはその事で頭を抱えてしまう。ちょっと真面目な性格。いろいろ考えると休みをもらいにくい。でも参加してみたい。好奇心は旺盛。ネチネチ悩みながらとりあえず市役所へ。友好の翼がどのようなものなのか、直接話を聞いてからどうするのか決めようかと。中途半端に記入した応募用紙をペラペラと手に持って担当窓口へ。そこで“千明さん”こと小林さんと初対面。モヤモヤと質問すると、ハキハキと威勢よく答えてくれる。その時の記憶に残っている言葉はただ一つ。「参加者みんなすっごい仲良くなりますよ！」人への興味はあるけれど、人見知りの私。心配はあるけど、信じてみようかな。応募を決断。

夫の中国杭州駐在に伴い、私も約3年間あちらで生活。どちらかという、世間的にも中国の印象は良いものではない。私自身も中国に興味なし。中国語も話せず。ただ好奇心はあり。外国に住めるよねって。

実際杭州に住んだ事で富士市への想いが募る。生まれた時から当たり前に住んでいた富士市。いろいろな事が当たり前に溶け込み過ぎて感じず、動じず。でも。離れてみてわかった。富士市の魅力。富士山は北。田子の浦港は南。方角の目安隣って便利。製紙工場の香りがするね。独特臭だけど。ペーパーをたくさん生産している証。ローカル電車の岳南電車。レトロな切符にスロースピード、ほのぼの感満載。夜に乗ると工場夜景も素敵。富士山に比べるとかわいいサイズの岩本山。海の景色も山の景色も見えて楽しめる。何となくちょうどいい山。水が美味しいね。お茶が美味しいね。みかんが美味しいね。いちごが美味しいね。キウイが美味しいね。お米が美味しいね。って、美味しいばかり。食いしん坊(笑)水が良いから何でも美味しくなる。水道水がそのまま飲めるって贅沢。

今回、嘉興中一実験学校に訪れた際、ある女子学生さんから質問を受ける。「富士山以外に住んでいるところの良いところがありますか？」って。日本で偉大な富士山がすぐそばに存在している事で、つい富士山推しになってしまう富士市民あるある。皆が口を揃えて「富士山、富士山。」そうだね。他のことも聞いてみたいよね。不意を突かれたようなその質問。えっ?他に何があったっけ(・・?)。すぐに反応できず。悔しかった。恥ずかしかった。偉大な富士山に他のことが隠れてしまったよ。もっと富士市のことを思って富士市に住みたいな。よく耳にする「住んでいるまちに恩返しを…」って、正直漠然としてわかりにくい。でも、こういう気持ちの芽生えでも良いのかな。彼女との触れ合いで考えさせられたこと。

富士市は紙のまち。これは知っている。嘉興市も紙のまち。これは知らない。この共通点から友好都市へ。へ～、そうだったの。富士市長のスピーチにて初めて知る。知らなかったことが一つ知れた。良かった。

友好都市を築いて30周年。お祝いセレモニーの公式スケジュールが意外にもハード。記念大会が開かれた嘉興市役所の議会室。なんと立派なこと!国会議員にでもなった気分。午前のティータイムとしてテーブルに陳列された飲食物の数々。なんとお洒落なこと!ちょっと優雅な気分。その後ランチが控えていたため、お腹の容量を気にして遠慮がちに口にする。記念パーティーでの食事。なんと豪華なこと!見ている

だけでも満腹気分。傘が並べられているかのように盛られた海老。ペン立てに入っているペンのように盛られた鴨舌べろ。北京ダック等有名料理はもちろん、脇役料理たちもなかなか印象的。文化芸術鑑賞。なんと華やかなこと！躍動感溢れるものを見て高揚する気分。ただ、スケジュールの都合で超特急鑑賞になった書画展。中国に行ったことで興味を持ち始めた書道。もっとゆっくりじっくり作品を見たかったな。一般市民が生活している団地を訪問。なんと大きなこと！マンモス団地にびっくり。そこで団地内のサークル的活動を見学。書道、墨絵、切絵、編物、餃子作り等。高齢の方が中心に興味を楽しみ、人との関わりを楽しんでいる様子。書道同様に切絵にも興味がある私。アンパンマンの切絵ができるよってアピールしてみたかった。でも勇気が足りず。人見知りが邪魔をした。貴重な時間だったのにね。自分でチャンスを逃したよ。訪問団の中で最年長者、“じーじ”こと鈴木さん。行動力が羨ましい。誰とでもフレンドリー。私の課題。

公式スケジュールが済み、やっと中国観光。賑やかな観光地。昔ながらの風景。現代の風景。広大で煌びやかな夜景。美味しい小籠包。烏鎮、上海を満喫。観光しながら団員同士の距離が縮まったような。

団長の“山ちゃん”こと山田さん。大好きなお酒を飲んでも頭の回転の速さは変わらず。いつも周囲への気遣いを忘れない。存在感のある高身長。容姿も中身も団長にもってこいの方でした。そして写真を撮るのが上手過ぎる。師匠になってくれますか（笑）

“深ちゃん”こと深田さん。鈴木さんと仲良し。おしゃべりしているところらの話を聞いているのか？いないのか？気づけば話したいことをずっと話している深田ワールドへ。スローな時空が気に入りました。

“池田さん”こと池田さん。「中国語は話せないです」と。でも英語は流暢。ポロンポロン英語を話して交流する姿はただただすごい。ファッションセンスも素敵。

“石田さん”こと石田さん夫妻。どちらを呼ぶにも石田さんでした。二人揃ってお酒好き。時々ちょっと暴走する旦那さんに奥さんからの突っ込み。仲の良い二人にほっこり。

“濱ちゃん”こと濱中さん。誰にでも分け隔てなく関わられる、打ち解け上手。だからかな？気遣い方がさり気ない。ジェントルマンですね。

“みさちゃん”ことみさほさん。なんでもテキパキ。そして中国語堪能。嘉興市でテレビのインタビューに抜擢されたことに拍手。私もみさちゃんみたいに中国語が上達するといいな。憧れる存在になりました。

“龍くん”こと龍之介くん。訪問団のなかで最年少者。若さとイケメンで皆の華的存在。龍くんと話しているとタイムスリップできました。私も20代（笑）キーインルームした時はフロントまでお付き合いしてくれたね。優しい青年。心強かったよ。

“千代ちゃん”こと千代子さん。“聡ちゃん”こと聡美さん。旅の姉たち。妹を気にかけてくれる優しい姉たち。ルームキーのハプニング（笑）共に起こしたね。さすが姉妹。

参加の決め手となった言葉。本当だった。参加して良かった。本当に。

皆のおかげで大変充実した旅となる。言葉で表現するとシンプルだけど。この良さをもっと上手く伝えられたらいいけれど。表現下手な私。とにかく表現しきれない感覚的に得られたものも、ずっと私の宝物。今後も友好の輪が更に大きく広がっていきますように。

関係された皆さんへ。どうもありがとうございました。



# 富士市・嘉興市友好都市提携30周年「富士市民友好の翼」訪問記録

日程 令和元年11月5日（火）～10日（日）

概要 嘉興市内において、友好都市提携締結30周年記念行事として開催された嘉興市対外友好協力大会、歓迎宴会、嘉興市書画展、嘉興市国際芸術大会へ参加するとともに、嘉興市活動センターにて地域交流、烏鎮見学、上海見学を行い、今後に向け嘉興市への理解と友好関係を深めました。

## 01 嘉興市対外友好協力大会 参加

6日 午前

（会場）嘉興市役所庁舎

嘉興市対外友好協力交流大会が開催されました。富士市民友好の翼訪問団のほか、富士市長訪問団、富士商工会議所訪問団、富士市日中友好協会訪問団が参加しました。中国嘉興市、日本富士市、韓国江陵市の各代表（書記、市長）が挨拶するとともに、嘉興市と富士市、嘉興市と江陵市の間で記念品の交換が行われました。会場内には同時通訳のブースが設けられており、発言はすべて、中国語、日本語、韓国語、英語に同時通訳されていました。

### 【次第】

司会：盛全生副市長

#### 第一節 国際姉妹都市交流大会

- 嘉興市委員会書記張兵の挨拶
- 浙江省人民政府対外友好協会副会長陳艷勤の挨拶
- 上海駐在韓国総領事館リーゼーボク領事のスピーチ
- 富士市小長井義正の挨拶
- 江陵市長キムハングンの挨拶
- 国際姉妹都市記念交換式

茶屋（休憩）

#### 第二節 国際協力フォーラム

- 上海市アメリカ問題研究所研究員倪建平のスピーチ
- 同済大学特任教授、ドイツ研究センター研究員、  
元上海駐在ドイツ総領事芮悟峰のスピーチ
- 中国ヨーロッパ連合商会小売販売フォーラム副主席、  
トレングループCEO李曦萌のスピーチ



## 02 歡迎宴会 参加

6日 午後

(会場) 嘉興富悦大酒店

嘉興市主催の歓迎宴会が開催されました。富士市民友好の翼訪問団のほか、富士市長訪問団、富士商工会議所訪問団、富士市日中友好協会訪問団が参加しました。富士市長と韓国江陵市長との間で、記念品の交換を行いました。



### 03 嘉興市書画展開幕式 参加

6日 午後

(会場) 嘉興市図書館

富士市民友好の翼訪問団のほか、富士市長訪問団、富士商工会議所訪問団、富士市日中友好協会訪問団が嘉興市書画展開幕式に参加し、富士市長が挨拶をしました。展示室には、2019年8月に富士市に来富し、富士市立中央図書館分館市民ギャラリーにおいて書画展を開催した「嘉興市書画家代表团」の団員を中心に制作された富士山などをモチーフにした作品が展示されていました。



### 04 嘉興市国際友好都市文芸コンクール（芸術公演） 参加

6日 午後

(会場) 南湖区文化会館

嘉興市、富士市、江陵市の各都市芸術団の共演による芸術公演が開催されました。富士市からは武道芸術団が出演し、尺八の演奏とともに居合道、柔道、なぎなた道、少林寺拳法の演武を披露しました。開演に先立ち、富士市長が挨拶しました。舞台の背景に演目ごとに各都市の画像が投射され華やかさが演出されるとともに、日本の静に対し中国の動など3カ国の文化の違いが際立ち、とても見応えのある舞台公演でした。

富士市民友好の翼訪問団のほか、富士市長訪問団、富士商工会議所訪問団、富士市日中友好協会訪問団が観賞しました。

#### 【演目】

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1 踊り《花満開の中国》    | 中国嘉興市歌舞団   |
| 2 尺八演奏と《四方清めの剣》 | 日本富士市武道芸術団 |
| 3 踊り《首長鼓》       | 韓国江陵市農楽芸術団 |
| 4 女子歌《ジャスミン》    | 中国嘉興市歌舞団   |
| 5 武術《柔道》        | 日本富士市武道芸術団 |
| 6 江陵農楽《ブッポノリ》   | 韓国江陵市農楽芸術団 |



- |    |               |            |
|----|---------------|------------|
| 7  | モンゴル踊り《海日太額吉》 | 中国嘉興市歌舞団   |
| 8  | 武術《薙刀(なぎなた)道》 | 日本富士市武道芸術団 |
| 9  | 江陵農楽《江陵太鼓》    | 韓国江陵市農楽芸術団 |
| 10 | 京歌《私は中国人》     | 中国嘉興市歌舞団   |
| 11 | 武術《少林寺拳法》     | 日本富士市武道芸術団 |
| 12 | 江陵農楽《お祝い》     | 韓国江陵市農楽芸術団 |
| 13 | 武術《居合道》       | 日本富士市武道芸術団 |
| 14 | 踊り《四海観歌》      | 中国嘉興市歌舞団   |



## 05 嘉興市武術家協会と交流会

7日 午前

嘉興市の歴史にちなんだ物語に沿って嘉興市の演劇鑑賞を行い、日本の武道も富士市武道芸術団が披露。お互いの国の武術を鑑賞し、武術交流を行うことが出来ました。



## 06 嘉興市コミュニティー活動センターにて地域交流

7日 午前

嘉興市内にある集合住宅の一角を利用し、高齢者の人たちが集い、餃子作り、切り絵、書道など、活動しているところを訪問し、一緒に餃子を作成したり嘉興市の市民と地域交流を行いました。





## 07 嘉興市博物館見学

7日 午後

嘉興市の博物館にて嘉興市の歴史について学びました。

江南の歴史について丁寧に教えていただきました。

南湖は浙江の三大湖の1つで、嘉興市の南側に位置するため「南湖」と名付けられました。

中国共産党第1回全国代表大会が南湖の船上で行われ、共産党結党の地として重要な場所であり、湖上には会議を行った遊覧船の模型が展示されています。

## 08 嘉興一中実験学校 訪問

7日 午後

嘉興市にある中・高一貫の学校を見学。この学校は毎年来富し、また富士市の市民の家にてホームステイを行っている学校である。副校長より学校紹介のプレゼンテーションがあり、その後校内施設見学を行い、学生数名を交えたグループに分かれて学生と交流を行いました。

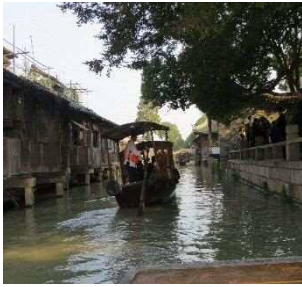
将来の夢や富士市を訪問した際の感想や、富士市のまちの紹介などを話し交流を行いました。



## 09 烏鎮 見学

8日 午後

嘉興市桐郷市に位置する水郷烏鎮を見学しました。烏鎮は、北京まで繋がる運河沿いにあったため、交通の要衝として栄えた街です。住民は現在も住んでおり、住民とも積極的に会話を楽しみ交流を行いました。



## 10 上海 見学

9日午後

前日の烏鎮と代わり中国の現代の上海に移動。中国の新旧を体感する。出来たばかりの上海中心大厚 118 階など見学しました。



## 11 帰国

10 日午前

ホテルチェックアウト、バスで龍陽路駅へ移動し、龍陽路駅から上海リニアで上海浦東国際空港へ。

富士山静岡空港へ向け11時35分離陸。14時30分（日本時間）富士山静岡空港着。

16時40分富士市役所へ到着、解散。





## 編集後記

出発前日に慌てて準備をし、不安と焦りの中、11月5日（火）出発の日を迎えました。今年は富士市と嘉興市が友好提携30周年ということで、市長訪問団以下、複数の訪問団を組み総勢約60人での嘉興市訪問となりました。

初めての嘉興市、初めての「友好の翼」の随行と、初めてづくしの訪問でしたが、皆さんに支えられとても仲良く、楽しい訪問となり、自分の人生におきましても、かけがえのない6日間となっております。

前半は記念行事への参加や忙しいスケジュール等で、他の団との兼ね合いや協調が少し大変だったかもしれませんが、皆さんの明るく元気な対応のおかげで、最後まで行事に参加できました。心から感謝しています。

最初にも述べましたが、富士市と嘉興市との友好は長い歴史を持っており、本年度で友好提携30周年を迎えました。この節目となります年に皆さんと一緒に訪問できたことは、私にとって心の財産となっております。参加してくださった皆さんはそれぞれ中国に大きな関心を持っており、キラキラと輝きながら個性を発揮していました。

皆さんとともに中国への訪問を通して、異文化との国際交流とともに、改めて富士市を違った角度から知ることが出来、また、富士市について再確認することができたことは大変意味のあるものであったと思っています。今後は、富士市と嘉興市との架け橋となるべく「翼」として大きく羽ばたき、より多くの人にこの体験を生かしていただきたいと思っています。

最後に、皆さんと過ごした6日間ですが、怪我もなく体調が悪くなる人も1人もなく、全員が無事に訪問を終えることが出来ましたことを心からお礼を申し上げ編集後記といたします。本当にありがとうございました。

国際交流室 小林